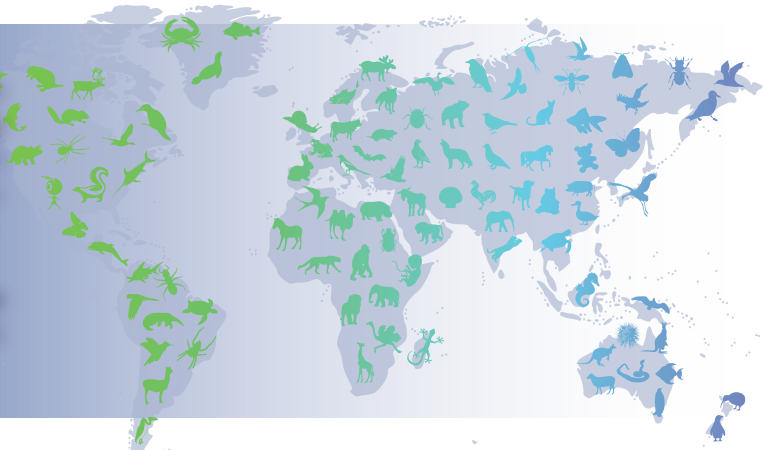


## IPBESシンポジウム

# 生物多様性とライフスタイル

～新しい日常に向けてわたしたちができること～

2019年5月に承認されたIPBES地球規模評価報告書は、生物多様性の状況を改善するためには社会変革 (transformative change) が必要と指摘しました。また、愛知目標の最終評価として2020年9月に公表された地球規模生物多様性概況第5版 (GBO5) においても、2050ビジョン「自然との共生」の達成には、「今まで通り」 (business as usual) から脱却し、「社会変革」が必要と指摘しています。本シンポジウムでは、生物多様性保全のための意識の向上や、行動変容につながるヒントとなる取組・実践事例を専門家から御紹介いただき、私たち一人一人に何ができるのかを考えます。



14:00 開会挨拶  
環境省

14:02 基調講演 「「自然と共生する世界」の実現に向けた社会変革」  
武内 和彦 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長

14:15 趣旨説明  
環境省

14:20 事例報告① 「生き物の豊かな環境が育む健康～明らかになりつつある生物多様性と健康の科学的な関係～」  
曾我 昌史 東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授/東京大学卓越研究員

事例報告② 「ゆっくり、いそげ～一つ一つのいのちを大事にする地域づくり～」  
影山 知明 クルミドコーヒー/胡桃堂喫茶店 店主

事例報告③ 「行動経済学とナッジを生物多様性保全に活かす」  
佐々木 周作 東北学院大学経済学部 准教授

事例報告④ 「みんなでつくる自然共生社会～行動変容に向けたNGOやユースの取り組み～」  
矢動丸 琴子 Change Our Next Decade 代表

事例報告⑤ 「誰でもいきもの調査隊員～AIを使った生物同定アプリとその活用～」  
藤木 庄五郎 株式会社バイオーム 代表取締役

事例報告⑥ 「小さな自然再生とオープンなデータと緩やかな環境自治区」  
三橋 弘宗 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員

15:40 休憩

15:50 パネルディスカッション 「意識と行動の変化を後押しするために」

ファシリテーター  
山口 真奈美 一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会 代表理事

パネリスト (五十音順)  
影山 知明 クルミドコーヒー/胡桃堂喫茶店 店主  
佐々木 周作 東北学院大学経済学部 准教授  
曾我 昌史 東京大学 准教授  
藤木 庄五郎 株式会社バイオーム 代表取締役  
武内 和彦 IGES 理事長  
三橋 弘宗 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員  
矢動丸 琴子 Change Our Next Decade 代表

16:30 閉会挨拶  
鳥居 敏男 環境省 自然環境局長

2021年 3月6日 (土) 14:00～16:30

オンライン (Zoomウェビナー形式)

参加申込

参加料無料、事前申込制となっております。  
令和3年3月4日 (木) までに、以下の  
参加フォームからお申し込みください。



\* 登壇者情報は裏面をご参照ください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_gh0t8150Q4yBCEx4uS6Wfw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_gh0t8150Q4yBCEx4uS6Wfw)

## 登壇者プロフィール



### 影山 知明

クルミドコーヒー／胡桃堂喫茶店 店主

東京大学法学部卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニー社を経て、独立系ベンチャーキャピタルを共同創業。その後、2008年、西国分寺の生家を建て替え、多世代型シェアハウスを開業。その1階に「クルミドコーヒー」をオープンさせた。2017年には2店舗目となる「胡桃堂喫茶店」を開業。出版業や書店業、哲学カフェ、地域通貨、米づくりなどにも取り組む。著書に『ゆっくり、いそげ』



### 佐々木 周作

東北学院大学経済学部 准教授

1984年生まれ。京都大学経済学部を卒業後、三菱東京UFJ銀行に入行。退職後、大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程にて、博士号（経済学）を取得。京都大学特定講師などを経て、現職。専門は、応用ミクロ計量経済学・行動経済学・実験経済学。一般向け書籍に『今日から使える行動経済学』（ナツメ社）等がある。日本版ナッジ・ユニット連絡会議等の有識者を務める。



### 曽我 昌史

東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授／東京大学卓越研究員

2010年に東京農工大学農学部を卒業し、2012年に同大学大学院農学府修士課程を修了、2015年に北海道大学大学院農学研究院で博士（農学）を取得。学位取得後、日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科助教を経て、2019年11月より現職。専門は生態学だが、その他に環境心理学や都市計画学、公衆衛生学にも精通し、人と自然の相互作用に関する学際的な研究に従事。



### 武内 和彦

公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）理事長

東京大学理学部卒業。同大農学系研究科修士課程修了。農学博士。専門は、地域生態学、サステナビリティ学。同大農学生命科学研究科教授、サステナビリティ学連携研究機構長・教授／特任教授、国際連合大学上級副学長などを経て、2017年より現職。2019年より東京大学未来ビジョン研究センター特任教授。中央環境審議会自然環境部会長、国際学術誌Sustainability Science編集長などを兼務。



### 藤木 庄五郎

株式会社バイオーム 代表取締役

1988年7月生まれ。大阪府出身。2017年3月京都大学大学院博士号（農学）取得。同年5月株式会社バイオーム設立、代表取締役就任。在学中、熱帯ボルネオ島にて2年以上キャンプ生活をしながら、生物多様性定量化技術を開発。現在は、生物多様性保全の主流化を目指し、世界中の生物の情報をビッグデータ化する事業に取り組む。データを活かしたサービスとして生きもの図鑑アプリ「Biome」を運営。



### 三橋 弘宗

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員／  
兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師

県立の自然史博物館の学芸員。保全生物学、博物館学が専門。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。県立森林動物研究センター客員研究員。博物館のコレクション収集管理と展示制作、環境教育から、野外調査と空間解析、自然再生事業の推進まで、生物多様性に関するあらゆる業務に実務に従事。世界生物多様性情報機構（GBIF）日本ノード運営委員、次期生物多様性国家戦略研究会委員を務めるほか、小さな自然再生研究会の事務局を担う。



### 矢動丸 琴子

Change Our Next Decade代表／設立者

生物多様性分野に関わる日本の若者による政策提言や普及啓発などの活動促進に注力している。Global Youth Biodiversity Network (GYBN)日本支部の共同コーディネーターを兼任。千葉大学大学院園芸学研究科博士後期課程在学中。専門は、環境健康学、人間植物関係学、環境教育学。博士課程進学と同時に、2018年4月より国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)事務局アシスタントとして勤務を開始し、2020年1月よりユースプログラムディレクターとして現在も従事している。



### 山口 真奈美

一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会 代表理事

地球環境保全と国際認証の研究の傍ら、環境教育やCSRに関する活動に従事。研究所を経て2003年独立。2006年より認証機関Control Union日本法人立上げ及び代表も務めた。持続可能な責任ある調達や環境社会的配慮、エンカル消費と生物多様性、国際認証等を専門とし、コンサルティングや教育研修の他、日本エシカル推進協議会副会長等兼任。

(五十音順)

(参考)

## 生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services: IPBES)

(Intergovernmental science-policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services: IPBES)

IPBESは、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間のプラットフォームとして、2012年4月に設立された政府間組織です。2021年2月1日現在、IPBESには137カ国が参加しており、事務局はドイツのボンに置かれています。科学的評価、能力開発、知見生成、政策立案支援の4つの機能を柱とし、気候変動分野で同様の活動を進めるIPCCの例から、生物多様性版のIPCCと呼ばれることもあります。

## 地球規模生物多様性概況第5版

地球規模生物多様性概況第5版（Global Biodiversity Outlook5：GBO5）は、生物多様性戦略計画2011-2020及び愛知目標の達成状況についての評価や、2050年ビジョンの達成に向けて必要な行動等をまとめた報告書で、生物多様性条約事務局が2020年9月15日に公表しました。報告書によれば、愛知目標の20項目のうち6項目は一部達成と評価したものの、完全に達成したものはありませんでした。



環境省webサイト

<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/ipbes/index.html>

連絡先

環境省 自然環境局自然環境計画課  
生物多様性戦略推進室

代表 03-3581-3351

直通 03-5521-8275

室長 中澤 圭一（内 6480）

室長補佐 奥田 青州（内 6481）

室長補佐 山田 亨（内 6484）

主査 竹原 真理（内 6489）